

「教師力」の向上を目指した現職教育の充実 教職員の専門性と資質・能力の向上を図る校内研修の推進

I はじめに

学校教育が多くの課題を抱えた今日、教育活動の直接の担い手であり、児童生徒の人間形成に大きな影響を及ぼす教職員への期待がこれまでに増して高まっている。

各学校においては、校長のリーダーシップの下、学校や地域の具体的な教育課題等にかかわる校内研修が適切に進められているが、こうした期待にこたえるためには、教職員一人一人の専門性や資質能力の一層の向上は必ずの要件であり、現職研修、とりわけ日々の職務を通じた校内研修の果たす役割が重要である。

本研究においては、このような校内研修を展開する際に、校長は、各教職員に教育専門職としての自己研さんを奨励しながら、「教職に対する強い情熱や意欲」・「教職員としての専門性や実践的な指導力」・「人間としての総合的な力」などの資質・能力の向上や意識の高揚を図るために、いかにリーダーシップを発揮したらよいか、また、校内体制づくりや校内研修体制の確立のために指導・助言をどのように行うのがよいか、検討するものである。

II 研究の概要

1 各校現状について

校内研修とそれへの校長のかかわり方について、各校の現状に関する事例報告をもとに研究協議を行った。その結果、各学校において校長が多様な課題を的確に把握し、創意工夫をしながらそれに立ち向かっていることが明らかになった。

2 教職員の専門性と資質能力について

上記1について研究協議しながら、校内研修を通して向上を図るべき教職員の専門性や資質能力とは何か、答申等も踏まえる中で次の3点として確認した。

(1) 教職に対する強い情熱や意欲

使命感、倫理観、教育的愛情、向上心

(2) 教職員としての専門性や実践的な指導力

子供理解、学習指導能力、生徒指導能力、経営的能力、課題解決能力、危機管理能力

(3) 人間としての総合的な力

人間性、常識、教養、協調性、協力性

対人関係能力、コミュニケーション能力

3 校長としてのかかわり方に関する視点

上記1、2について考察を加えた結果、校長としてのかかわり方に関して、次の視点を挙げることができた。

(1) 経営的観点

資質能力の向上は、学校という組織の目的実現の一つとして、経営的視点でなされる必

要がある。教育目標の重点化を図り、目標の共有化が図られるようにする必要がある。

(2) 教育目標の実現に貢献する実践的研修

研修が日常の教育活動を充実させ、学校教育目標の具現に貢献するようにし、授業に生きる実践的な校内研修となるよう指導する必要がある。

(3) 研究主任への指導助言

校内研修推進の要としてその推進に当たる研究主任に、研修の進め方などが、学校経営方針にそったものとなるよう指導する必要がある。

(4) 教職員個々の経験等への配慮

個々の経験や特性、それぞれのライフステージを的確に把握し、特性を一層伸ばすように促すとともに、分掌業務の遂行を通して、職能発達が図られるようにする必要がある。

(5) 分掌業務と必要な資質能力

各分掌業務を充実させるために必要な資質能力は何かを検討した上で、教職員の資質能力の向上に有効な分掌業務について配慮する必要がある。

(6) 全教職員の参画

校長一人では物理的に限界がある。組織経営の観点からも、教職員の協働的意識を醸成し、個々の教職員の資質能力の向上が、全教職員の参画を得て行われるようにする必要がある。

(7) 自主研修の奨励

文献研修はもとより研修機関や先進校視察など校外における研修、勤務時間外の研修、授業研究、自発的実践発表等、自主的・主体的な取組を奨励する必要がある。

(8) 研修の共有化

個人の研修内容を全体へ環流し合うなどして研修内容の共有化が図られるようにする必要がある。

(9) 研修の評価

研修活動によって、いかに資質能力の向上が図られているのかを適切に評価して研修への意欲づけを図るとともに、研修課題を把握し、支援や指導をしていく必要がある。

(10) 資質能力を向上させる場

学校における研修の場として、特に有効な平素の教育活動等を通じての教職員相互の学び合いの場、各自の分掌業務遂行の場を十分活用する必要がある。

Ⅲ まとめと課題

各中学校の実践を分析した結果、前述の「校長としてのかかわり方の視点」に挙げたように、実に様々な配慮の中で、校内研修を通じた教職員の資質能力の育成を目指す取組がなされていることが明らかになった。

今日、給与にも反映されるやに聞く人事評価制度の実施により、教職員の協働意識の減少が危ぐされる状況もある。

本研究においては、ここに挙げた視点を踏まえながら、さらに、「平素の教育活動等を通じての教職員相互の学び合いの場」や「各自の分掌業務遂行の場」の在り方などについて、さらに検討を加え、共通的な視点を明らかにするなど、研究を一層深めていきたい。

(部長 内藤 理)